

「葛飾区交通バリアフリー基本構想（素案）」
についてのご意見

ご意見総数 27件

都市整備部街づくり調整課

「葛飾区交通バリアフリー基本構想（素案）の区民意見提出手続き」実施結果について

実施期間 平成18年1月10日（火）～平成18年2月8日（水）

実施場所 区ホームページ・区民事務所・区民サービスコーナー・街づくり調整課

意見総数 ご意見提出者 13人 ご意見総数 27件

提出された意見分類

事業に関する（全体・広域）	4件
事業に関する（個別路線）	11件
心のバリアフリーに関する	3件
その他区域内に関する	5件
バリアフリー全体に関する	4件

提出されたご意見と区の考え方 別紙のとおり

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
事業に関する （全体・広域）	<p>・交通バリアフリー事業を進めるにあたり、単に交通・道路・公共施設のバリアフリー化を進めるのではなく、新宿六丁目の開発や金町六丁目の再開発など、全体の街づくりに連携し、誰もが住みたくくなるようなすばらしい街づくりを進めてほしい。</p>	<p>・今回、金町・立石を重点整備地域とした大きな理由のひとつとして、周辺の大規模な開発や連続立体交差事業などの街づくりが進んでいる地区であることが挙げられます。区としても、このような周辺に影響を与える大規模なプロジェクトと連携しながら、バリアフリー化を進めることで、更なる街づくりの進展が実現するよう努力してまいります。</p>	
	<p>・基本構想を進めて行く上で、安全性、平等性(どんな状態の人でも、どのような状態の時も同じサービスを受けられる)の視点を重視して欲しい。このようなことを決めるにあたり、ポーズや形だけでなく実質的に使う人の声を聞き机上で事を決めないで下さい。多くの人のQ・O・Lに関わりますので、責任の重要性を認識し、進めていただきたい。</p>	<p>・区といたしましても、誰もが安心して、かつ安全にサービスが受けられることを目標に、バリアフリー化に取り組んでいきたいと考えております。今回の基本構想を策定する中で、アンケート調査や障害者の方々を含めたバリアフリー点検を実施するなど、できる限り多くの方々の意見を聴きながら、進めてまいりましたが、ご意見にもありますように、今後事業を進める上でも、多くの方々の意見を取り入れながら、設計や工事を進めて参りたいと考えております。</p>	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎などのバリアフリー化を進めるに当たり、単に、そこにエスカレーターがあれば良いと言うものではなく、車いすや歳の取られた方々にとっては課題が多く、高齢化社会への備えとしては、エレベーターの設置が第一と考えて欲しい。また、そのエレベーターも、シニアカーも利用できるなど、誰でも使える物を設置することが、大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区としても、出来る限りエレベーターを設置する方向で進めておりますが、一部の駅では、現状の物理的な制約から、昇降装置の一部をエスカレーターとしております。今後も、誰もが利用しやすい施設とするよう、ご意見を踏まえ、更に検討を進めてまいります。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通特定事業について、車いす対応のバス等の時刻表への表示を実現して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす対応のバス等の時刻表への表示については、公共交通特定事業としており、それぞれのバス事業者に実現に向けた検討をお願いしております。 	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
事業に関する （個別路線）	<ul style="list-style-type: none"> ・経路5 - 2について、歩行空間の確保のため、自転車の整理や歩道の勾配の改善、段差解消して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区としても必要性を認識しており、事業計画の中に位置づけ、進めていきたいと考えております。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・経路1 - 2について、歩行空間の確保のため、自転車の整理や歩道の勾配の改善、段差解消して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区としても必要性を認識しており、道路特定事業計画の中に位置づけ、進めていきたいと考えております。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・重点整備地域内のベルシティ通りについて、視覚障害者誘導用ブロックの設置や通過する車（特にタクシー）のスピード取締りなどを行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の指針によりますと視覚障害者誘導用ブロックの設置は、歩道に限定されており、対応は困難な状況ではありますが、特定施設への誘導を含め、できる限りの対応を検討いたします。 警視庁に対応をお願いするとともに、区としても、交通バリアフリーの情報発信を進める中で、事業者と必要な措置を検討して進めたいと考えております。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・経路3 - 1のスターボックス前の交差点について、車が超過スピードで通過するため、横断歩道の歩行者が危険なので、運転者にスピードを落とさせる工夫をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はじまる南口再開発事業と関連する区画5号線の具体的な検討（設計）を進める中で、信号の設置を含め、安全対策について、交通管理者と協議を進めて進めたいと考えております。また、早急に実施できる対策についても、並行して検討を進めたいと考えております。 	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
	<ul style="list-style-type: none"> ・経路4 - 4の歩道について、視覚障害者誘導用ブロックや歩道の勾配の改善、段差解消を図るとともに、路上の街路樹などを適正配置にして、円滑な歩行空間を確保して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経路4 - 4については、いただいたご意見を反映し事業化計画を策定するよう道路管理者（東京都）に対し、要請します。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・経路3 - 2（区画街路5号）について、完成した後、国道6号にぬける際、車のスピード超過などにより、横断歩道の歩行者が危険であることから <ul style="list-style-type: none"> ・歩道に、自転車、自動二輪が違法に駐車されないような工夫をして欲しい。 ・歩道にくつろげるベンチの設置をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーを進めるには、違法駐輪対策などは、重点的に取り組む事業としておりますので、区としても、ソフト対策を含め、十分な検討を行い進めていきます。 ・再開発に伴う歩行者の主導線になることから、歩行者交通量が多く、ガイドラインの基準では、ベンチの設置は困難な状況ですが、周辺開発を含め検討を進めてまいります。 	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
	<p>・金町圏域の経路4 - 1のJR金町駅と京成金町駅間の交差点に侵入する車が、一時停止を守らないなど、歩行者の危険性が高く、交差点をカラー舗装にするなど、運転者に注意を向けさせて欲しい。（同意見1件）</p>	<p>・ご指摘の交差点については、金町駅南口に進入する唯一の交差点であり、自動車交通が集中していることから、現在、補助327号線や区画街路5号線の整備を進め、交通の分散化を図り、誰もが安心して利用できる交差点としていきたいと考えております。また、早急を実施できる対策についても、並行して検討を進めたいと考えております。</p>	
	<p>・公共交通特定事業について、金町駅北口のスロープの勾配緩和をするとともに、スロープ幅の拡大についても検討をして欲しい。</p>	<p>・JR東日本では、基本構想策定に伴う駅点検の結果を受け、できる限り早い対応を行うため、今年度事業として、スロープの緩和工事を実施しています。スロープ幅の拡大については、乗車した状態での自転車通過による歩行者との問題などから、今回の工事での実現はできませんが、誰もが利用しやすい駅舎とするよう今後とも、働きかけていきます。</p>	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
心のバリアフリーに関する	<p>・交通バリアフリー法の制定以降、ノーマライゼーションやバリアフリーの考え方が、ゆっくりではありますが、市民に浸透してきています。しかし、今回の東横インの社長の発言に代表されるように、多くの方々は、未だ障害者の置かれている現状を理解しているとは、言いがたい状況にあると思います。今回の構想策定を契機として、区民の多くの方々の発想が変化して行くことを期待しています。</p>	<p>・区としても、今回の基本構想の柱の一つとして、ハードのみならず人に優しい心のバリアフリーも挙げており、今後、様々な事業を展開しながら、ノーマライゼーションやバリアフリーの考え方を、多くの区民の方に理解していただけるよう進めていきたいと考えております。</p>	
	<p>・バリアには、物理的なものと、心理的なものがあるが、構想にもあるように「心のバリア」が重要な課題となっている。学校教育でユトリの時間としてボランティアの大切さを学ぶことも大切であるが、例えば、大きな駅に大型の液晶テレビを設置して、葛飾区の広報、福祉の現場を流し続けるなど、多くの方々に福祉の現状を知っていただく努力をするべきではないか。</p>	<p>・区としても、「心のバリアフリー」を進めるためより多くの区民に理解いただくよう、様々な手法をはじめ、環境づくりを検討していきたいと考えております。</p>	
	<p>・心のバリアフリー推進方策の中の「心のバリアフリーを進めるために」の具体案として学校教育をもっと大きく取り上げてほしい。</p>	<p>・区としても、心のバリアフリーを進めるためには、学校教育における取り組みが重要であると考えており、社会福祉協議会との連携による出前講座や総合学習での取り組みなどを継続していくとともに、より一層充実できるよう、検討を進めてまいります。</p>	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
その他区域内に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・経路 4 - 3 の信号機について、京成電鉄の水戸街道踏切に連動した金町駅方向への右折矢印が数秒点灯するが、時間が短く、そのことに気がつかない横断歩道の歩行者などが、危険にさらされることがあり、改善をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた意見の現状を確認し、交通管理者（警視庁）に対応策の検討をお願いして行きます。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・経路 3 - 2（区画街路 5 号）について、完成した後、国道 6 号にぬける際、車のスピード超過などにより、横断歩道の歩行者が危険であることから、 <ul style="list-style-type: none"> ・運転者にスピードを落とさせる工夫をして欲しい。 ・ベルシティ通りとの交差点に、横断歩道を設置して欲しい。 ・ベルシティ通りを分断させないために、ベルシティ通りをそのまま直進できる横断歩道を設置して欲しい。 ・緑を多くした通りにして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在警視庁協議中ですが、幹線道路であることから、ハンブなどの物理的なデバイスの設置は困難ではありますが、ソフト対策を含め、安全確保に努めて行きます。 ・現在警視庁協議中ですが、幅員の狭い単断面の道路であることから、横断歩道は大変困難な状況にあります。 ・現在警視庁協議中ですが、要望の位置での横断歩道の設置は大変困難な状況にあります。 ・できる限り緑化を進めるべく、検討（設計）を進めます。 	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
バリアフリー全体に関する	<ul style="list-style-type: none"> ・柴又街道の歩道について、視覚障害者誘導用ブロックや歩道の勾配の改善、段差解消を図るとともに、路上の街路樹などを適正配置にして、円滑な歩行空間を確保して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経路4-4より以南の柴又街道についても、このような視点により、対応かた、道路管理者（都）に要請します。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・重点整備地区内の目的施設に対するバリアフリー化への指導と実現に向けた検討をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や駅舎などのバリアフリー化が実現しても、ご指摘にありますように、目的施設のバリアフリー化が実現しなければ、本来の目的が達成されたとはいえません。区としても、基本構想の策定を契機に、目的施設の管理者への協力依頼などを進めていきたいと考えております。また、現在、国において、交通バリアフリー法の改正が検討されており、その中で、ハートビル法との連携・統合などが議論されていると聞いておりますので、検討状況などを見守りながら、区としても具体策の検討を進めていきたいと考えております。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通特定事業について、葛飾の名所の1つである水元公園付近におけるバス停について、車いすでも降車できるように改善して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者及び道路管理者（都）に検討をお願いしてまいります。なお、直近となる水元公園バス停については、上下とも車椅子での利用が可能となっております。 	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する

区 分	提出されたご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	取扱
	<p>・現状の歩道を車椅子などで移動する際、傾斜の多さや段差・凹凸など、介助があっても大変な状況です。浅草ロック座付近の道で、中央に排水施設をつくり、歩道や車道の段差を緩和する工夫をした道路があり、歩道・車道の構造を見直せないものでしょうか。</p>	<p>・ご指摘のように、区内の多くの道路は、歩道幅員（2 m程度）が狭い中で、マウンドアップ型を採用していることから、傾斜や段差が大きくなっております。このような状態を改善するため、区では、歩道勾配改善事業を計画的に取り組んでいるところでございます。また、新たに歩道を新設するに当たっては、歩道幅員などを勘案しながら、提案にありますような手法に近いセミフラット型を採用するなどをして、段差や勾配の軽減を図っております。</p>	

構想にあたって参考とした
意見・要望としてお聞きした

構想に盛り込まれている

事業実施計画等にあたって参考・考慮する